

よこはま動物園ズーラシア マレーバクの赤ちゃん誕生！



1月12日生まれの赤ちゃん
(1月13日撮影)

よこはま動物園では、令和4年1月12日(水)にマレーバクの赤ちゃん(オス)が誕生しました。当園でマレーバクの赤ちゃんが誕生するのは、平成17年以来17年ぶりです。今回生まれた子の父親は昨年1月に死亡したカイクです。

母親のロコは、初めての出産でしたが、非常に落ち着いた様子で赤ちゃんの世話をしています。

マレーバクの赤ちゃんは、大人の模様と違った斑点模様が特徴的です。生後3カ月ほどから徐々に大人の模様へ変わり、6カ月ほどで大人と同じ模様になります。

赤ちゃんの公開、愛称投票は3月以降を予定しています。決定しましたらホームページ等でお知らせします。公開までの間は、ホームページ内のブログ「飼育日誌」で近況情報を紹介していく予定です。これからの赤ちゃんの成長を、見守ってください。

公開日は未定です。詳細が決まり次第、公式ホームページ等でお知らせします。
赤ちゃんの撮影等はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

■ 個体情報

父親	愛称：カイク	平成 12 年 9 月 4 日生まれ 令和 3 年 1 月 25 日死亡
母親	愛称：ココ	平成 21 年 6 月 5 日生まれ
子（オス）		令和 4 年 1 月 12 日生まれ

■ マレーバクについて

和 名	マレーバク
英 名	<i>Malayan Tapir</i>
学 名	<i>Tapirus indicus</i>
分 類	奇蹄目 バク科
分 布	ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
生 態	現存するバク 4 種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことで知られています。他のバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴です。熱帯雨林の森の中で単独で生活していて、木の葉や草などを餌としています。水辺を好み、泳ぎも巧みです。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種 (EN)：近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	2 頭（オス 1 頭、メス 1 頭） ※今回生まれた子を含む
国内飼育園館	13 園館 35 頭（オス 20 頭、メス 15 頭） ※令和 4 年 1 月 13 日現在

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆ 開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆ 休 園 日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆ 交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆ U R L： <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆ 問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。